

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	やまびこマーチ開催事業	会計	一般会計	事業No.	729	施策順No.	26-003
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-6-1-11-6		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり	課等名	生涯学習・スポーツ課				
施策	26 スポーツの振興	事業期間	開始	S62	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	全市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		住民基本台帳人口:人	107938	106630	105691	105036	107000	
	意図	身近なスポーツであり仲間や家族で楽しめるウォーキングを行ってもらう						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	市民参加者数:人	2323	2487	2198	2400	2349	2500	B
	総参加人数:人	4120	4426	3867	4400	4250	4700	
22年度の目標達成度に対する振り返り(政策的事業のみ評価)	平成22年度は、晴天に恵まれ市内外から多くの参加者があり、身近なスポーツ ウォーキングの普及・推進に一定の成果があった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和62年の市政50周年記念に合わせてスタートした。 ・健康づくりのための市民皆ウォークの推進や、ウォーキングを通じた地域内外の参加者間の交流や親子のふれ合い、更には飯田市のPR事業としての側面も持ちながら、毎年継続開催してきている。 ・コースは時々変更を加えてきており、現在は、市内を中心に歩く、40・30・20・10kmコース、大平コース、障害者も参加できるふれあいコース、親子で参加するPTAコース等を設定している。また、大会翌日にはオプションイベント(せっかくウォーク)を実施。 ・長野県ウォーキング協会、(財)飯田市体育協会、飯田市連合婦人会、飯田市PTA連合会、中日新聞社等により、実行委員会を組織して企画実施している。 ・(社)日本ウォーキング協会・日本マーチングリーグ(JML)の公認大会にも位置づけられている。 ・第20回大会を契機に、韓国原州市国際ウォーキングフェスティバルを開催している原州(ウォンジュ)市との相互交流が市民主体で行われている。 ・第25回大会からは、市民参加とウォーキング普及に向けた取組みも計画していく。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 第24回大会の開催 ・4月24日(土)・25日(日) 本大会 ・4月26日(月) せっかくウォーク(しらびそ〜下栗)	1 参加人数:人 2 開催回数:回	1 4,250 2 10
	2 第25回大会の企画準備 ・実行委員会等の関係会議の開催		
23年度実施計画	1 第25回記念大会の開催 ・4月23日(土)・24日(日) 本大会 ・4月25日(月) せっかくウォークの実施 ・原州国際ウォーキング大会との大会間交流提携調印式他記念行事の実施 ・日本マーチングリーグ総会の開催 ・伊能忠敬図フロア展in飯田の開催	1 参加人数:人 2 開催回数:回	1 4,700 2 10
	2 第26回大会の企画準備 ・実行委員会等の関係会議の開催		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	一般財源		2,110	2,110	5,500	
	計(A)		2,110	2,110	5,500	
	正規職員所要時間			1,400		
	臨時職員等所要時間			160		
	人件費計(B)			5,178		
	トータルコスト A+B			7,288		

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想基本計画推進委員会からは、「重要な事業であり安全で安心な事業継続と発展を求める」、「ボランティアとして参加する人をどう増やすかが課題」との意見をいただいている。 ・市議会からは、公民館などの地区単位ウォーキンググループや保健師の取組みと連携し、市民の日常的なウォーキング活動の定着を図るために、市民参加を促す組織運営を求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠、特殊要因)	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ。 ②競技力が向上する。	施策の成果指標又はムトス指標	日常的にウォーキングやスポーツをしている市民(成人)の割合:%
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	飯田やまびこマーチを継続開催することにより、いつでも誰でもどこでも気軽にできるウォーキングの普及啓発を行ってきた。		
	後期に向けた課題	歩くまちづくりを進めていくシンボルイベントとしての位置づけを再認識し、実行委員会組織の見直しも行いながら市民・行政協働型の運営形態を図っていく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどの ような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	参加者の増加を図るため、郡内参加者の参加費割引制度の実施している。また毎年コースの見直しを行い、各地の行事等に触れる機会を増やし参加者の楽しめるコースを目指してきた。各チェックポイントや休憩所での接待を連合婦人会等の団体に依頼し、遠方からの参加者を歓迎するとともに、市民にも飯田の良さを知ってもらう機会としてきた。PTA参加も約1000名程度となり、親子の触れ合いと子供の体力向上につなげる機会としてきた。		
	後期に向けた課題	市民参加者の拡大や、実行委員会組織への市民参加の拡大の検討を行い、行政主導型から市民との協働型の企画運営への移行を進めていくことが必要。		
コストを削減する ためにどの ような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	事前申込者数の把握を直前まで行い、発注品個数を調整するとともに、参加記念品・ゼッケンについては、大会回数を明記せず次回大会でも使用できる方法を取って経費削減を図っている。		
	後期に向けた課題	参加者の安全確保のため、各チェックポイントに看護師を配置するとともに、緊急対応車両の配置を行う等危機管理の度合い及び経費が増加してきている。完歩証の印刷廃止などの経費削減も行っているが、運営は厳しい状況にある。		
受益者負担の 程度、市が関 与する程度は 適切でしたか	4年間の振り返り	郡外参加者の負担金は1日参加2日間参加を問わず2,000円に統一した。郡内参加者は高校生以上2日間参加は2,000円・1日参加は1,000円の割引制度を行い、飯伊地区参加者の拡大を図ってきた。加盟している日本マーチングリーグでも標準的な参加費となっている。実行委員会組織で運営しているが、誘導員の手配・危機管理の面で市が関わる程度が大きくなって来ている。		
	後期に向けた課題	受益者負担は、他の大会と比較し標準的な負担となっているため、現状の状態を維持していく。市の関与については、第25回大会から大会運営に関して市民団体の協力を強めているが、第26回大会以降は今まで以上に民間団体の協力を得ていく必要があり、実行委員会の企画運営スタッフ体制の見直しが必要である。		
多様な主体の役割の 発揮状況 ①その主体は誰で、 どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を 発揮するために、行 政はどのような働き かけをしてきました か、又は、配慮して きましたか	4年間の振り返り	長野県ウォーキング協会・(財)飯田市体育協会・飯田市PTA連合会・飯田市連合婦人会・観光ガイドの会・市内短大・市内高等学校・市内中学校等の多様な主体が企画運営に参画している。県ウォーキング協会は主催場での出発式やコースアンカー業務に、体育協会はコースの安全管理や宿泊運営、主催場の出店管理に携わっている。また、PTA連合会は独自にコース設定を行い、参加者募集から当日運営までを自主運営している。連合婦人会はチェックポイントの運営を、観光ガイドの会は参加者のコース案内等を行なっている。		
	後期に向けた課題	多様な主体が協同した大会運営が当事業の特徴であるため、今まで以上に市民団体等と協同し取り組んでいく必要がある。各民間組織と協同し、組織強化を図るとともに、大会運営への関わり方を深めていく必要がある。また新たな組織との協同体制を開拓し、飯伊地区イベントとしての定着を目指し、参加者の増加につなげていく必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	飯田やまびこマーチも25回を迎え、ウォーキング大会としては全国に知られてきている。参加者は日本全国におよび、飯田のPRに役立っている。しかし大会参加者数も近年横ばいであり、参加者の固定化が見受けられる。		
	後期に向けた課題	「歩くまちづくり」のシンボル事業とするため、ウォーキングや大会運営への市民参加の拡大をおこない、ウォーキング関連事業との関連づけを強化していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や目標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--